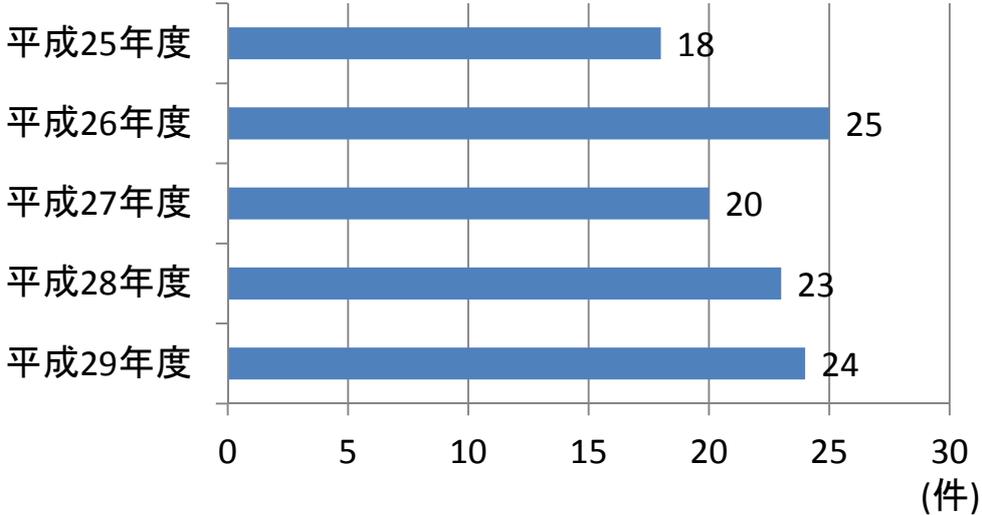




15 臓器移植件数(心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓)

解説	<p>臓器移植を行える施設は限られています。そのため臓器移植は、高度な医療技術、経験のある医療職、十分な設備を持つ国立大学附属病院の社会的責任の一つといえます。腎移植はすでに定着した技術ですが、心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の移植はまだまだ難しい問題が多々あります。心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の臓器別の件数は少ないので、ここではこれら五臓器の合計数を示します。</p>												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成25年度</td><td>18</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>25</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>20</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>23</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>24</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成25年度	18	平成26年度	25	平成27年度	20	平成28年度	23	平成29年度	24
年度	件数												
平成25年度	18												
平成26年度	25												
平成27年度	20												
平成28年度	23												
平成29年度	24												
定義	<p>各年度1年間の心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の合計移植件数です。同時複数臓器移植の場合は1件として計上します。</p>												